

平成30年度入試【3年次編入学】

【日本語学・日本文学】

(法文学部・言語文化学科)

注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は一ページである。解答用紙は二枚。下書き用紙は一枚である。  
指示があつてから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。  
答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。  
解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 3 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

一 次の文章を読んで後の問い合わせに答えよ。

若きほどは、諸事につけて、身を立て、大きな道をも成じ、能もつき、学問をもせんと、行末久しくあります  
「」といふ心には懸けながら、世をのどかに思ひてやむおりたりつつ、まづさしあたりたる日の前のことにのみま  
ぎれて、月日を送れば、「」といふことなくして、身は老いぬ。つひに物の上手にもならず、思ひしやうに身を  
も持たず、悔やれども取り返さるる時ならぬば、走りて坂を下る輪の如くに衰へゆく。

されば一生のうち、むねとありませしからん」との中に、いつれかまざるといふく思ひへりべて、第一の「」とを  
案じ定めて、その外は恩ひ捨てて、一事を励むべし。一日の中、一時の中にも、あまたの「」との来らんなかに、少  
しも益のまさひん」とを嘗みて、その外をばつち捨てて、大事を怠ぐべきなり。何方をも捨てじと心に執り持ちて  
は、一事もなるべからず。

(『徒然草』による)

問 傍線部A、Bをそれぞれ口語訳せよ。

二 「食べた」「寝た」などの「た」と、「読んだ」「飛んだ」などの「だ」が、同じ形態素の異形態であると言えるのはなぜ  
か説明せよ。

三 次の漢詩は、日謙（一七四六～一八一九。大阪生。出雲法恩寺の住職。漢詩人）作の「潤道春花」である。読んで、以下の問い合わせに答えよ。返り点、送り仮名はすべて省略した。

潤道春寒退 林巒暖気回 幽花雖不語 能引雅人來

- 問一 この詩の形式を答えよ。  
 問二 押韻字をすべて指摘せよ。  
 問三 転句、結句の「幽花雖不語能引雅人來」をひらがなだけで書き下し（現代仮名遣いを用いててもよい）、わかりやすい日本語に訳せ。

四 以下の問い合わせに答えよ。

- 問一 歌物語について知るところを述べよ。  
 問二 上田秋成の文学について知るところを述べよ。  
 問三 次の文学史的事項の中から一つを選び、知るところを述べよ。

佐藤春夫 小川洋子 梶井基次郎 小説「草枕」 小説「草迷宮」 小説「風の歌を聴け」